

語彙

## 2012年中国の新語・流行語

趙蔚青

若者をはじめ多くの人々はテレビや新聞、ラジオよりもインターネットやケータイから情報を得ている。テレビや新聞などの伝統マスメディアと並んで、インターネットやケータイはすでに新型マスメディアの座を確立していると言えよう。

近年の新語・流行語の使用状況を見てみると、最も世相を反映するものはどんなメディアでもよく使われていることが分かる。紙幅の関係で詳しいデータは割愛することにする。

本文は、2012年の新語・流行語について、主にネットユーザーのクリック数を基に専門家のアドバイスを加えた「互動百科」の流行語ランキングを参考に、「人民日報」「中国青年報」などの新聞、中国中央テレビ局のサイトでの使用状況を把握した上で、整理・説明しようとするものである。

新語・流行語の生命力・生産性を考える上で、特定の事件で流行語のランキングにのぼる固有名詞よりも、新しくつくられた語句や既存の言葉の新しい用法と意味を優先的に説明することにした。

### 1. 正能量 (zhèng néng liàng, ポジティブエネルギー)

Positive energy からの訳語で、もともと天文学の専門用語であるが、現在は人々のポジティブな精神的原動力全般を指すようになっている。

ロンドン五輪の聖火リレーの感動を受けてミニブログによる“点燃正能量, 引爆小宇宙”(ポジティブエネルギーを点し、小宇宙を爆発)、“点燃正

能量，运气挡不住”（ポジティブエネルギーを点したら、運がついてくる）という書き込みが人気になり、多くの人がフォローするにつれて流行りだした。

また、経営学を専攻とする IT 業界出身の林正剛の著作《正能量：职场经理人的养成》や、自分の行動を変えることによって精神状態を改善するという前向きな心理治療法を唱えるイギリスの心理学者 Richard Wiseman の著作『Rip It Up: The Radically New Approach to Changing Your Life』（中国語訳名：《正能量》）が、7月から8月にかけて大勢の人々に読まれ、この言葉の流行に拍車をかけた。

高速道路で金属片に直撃された瀕死の状態、バスを安全に停車し24名の乗客を避難させた後で死んだ、最も素晴らしい運転手とされる杭州のバス運転手呉斌。過去60年で最悪となる記録的な豪雨に見舞われた北京で、自家用車を所有する市民が集まり、自身の車のハザードランプを点滅させ、助けが必要な人の送り迎えを買って出た「ハザードランプ・ボランティア」。これら人間の善を輝かせる行為も社会の“正能量”と評価される。

## 2. ～style（～スタイル）

世界的な人気曲“江南 style”（カンナムスタイル）から派生した接尾辞である。

韓国の歌手 PSY（サイ）の歌「カンナムスタイル」が2012年7月15日にインターネットで公開されるとすぐ韓国のヒット曲になり、2カ月足らずで You tube での再生回数は1億回を突破し、世界的人気を得た。

その曲名から“奥巴马竞选 style”（オバマ大統領選挙戦スタイル）、“上海杨浦 style”（上海楊浦スタイル）、“周星驰 style”（周星馳スタイル）、“客家话版 style”（客家語版スタイル）など、パロディが相次ぎ、“～style”は生産的接尾辞になってきている。

中でも、「カンナムスタイル」の乗馬ダンスにちなんだ、中国初の空母「遼寧」の艦載機を誘導するポーズをダンスにした警察版の“航母 style”（空母スタイル）の映像も人気を集めている。

3. 黄金粥 (huáng jīn zhōu, ゴールデン粥／ゴールデンウィーク大混雑／大渋滞)

“黄金周”（ゴールデンウィーク）をもじった表現である。史上最長といわれる2012年の国慶節連休は、高速道路の無料開放で大渋滞が発生し、高速道路が駐車場化した。また、観光スポットは許容量を大幅に超え、人身事故まで引き起こす大混乱状態だった。もはやゴールデンウィークではなく、ゴールデン粥（“粥”という語は、“黄金周”の“周”と同じ発音で、中国語でめちゃくちゃ混乱した様を意味する用法もある）となってしまった。

4. 屌丝 (diǎo sī, 屌絲)

“吊丝”とも書かれ、貧乏で醜くもてない男性を指す。

もともとBBSでサッカー選手李毅のファンをからかって言った呼称であるが、ファンたちがその呼称を喜んで使うようになったのをきっかけに、貧しくて取り柄のない若いネットユーザーも自分のことを自嘲する意味で使いはじめ、だんだん広がってきた。現在、“高富帅”（背が高く金持ちでイケメン）と対義語的に使われている。

なお、この言葉は山西省、湖南省、江蘇省など一部の地域で使われる方言でもある。「しまった」時や悪い予感がする時の感動詞、または貧乏でぶさいくな様子を形容する言葉として使われている。

5. 你幸福吗? (nǐ xìng fú ma, あなたは幸せですか?)

2012年10月に、中国中央テレビ局(CCTV)の中秋節国慶節連休特別企画、《走基层·百姓心声》(「現場を回る～庶民の声を聞く～)」という調査番組で、記者が出稼ぎの労働者に“你幸福吗?”(「あなたは幸せですか?」)と尋ねた。質問がよく分からなかったのか、答えづらそうに労働者は「地方からの出稼ぎなので、私に聞かないで」と答えた。記者がしつこく同じ質問を繰り返したら、“我姓曾”(「私は曾と申します)」と妙な答え方をした。

“幸福”の“幸”と“姓名”の“姓”が同音字であるのを利用したネットユーザーによる答も面白い。



“是的，我姓福 (xìng fú)，我们全家人都姓福。”(「はい、私は福と申します。私の家族はみんな福と申します。」。有名なテレビドラマの主人公で「福」という苗字の貴族出身の青年の口調で答えるようにしたが、発音だけでは、「はい、私は幸福です。私の家族もみんな幸福です」に聞こえてしまう。

いきなり「あなたは幸せですか」と尋ねる記者の質問そのものが変だ、と考える人は少ないようだ。幸せかどうかは、社会環境や自然環境、個人の生活状態などさまざまな事柄への感じ方や満足度にかかわる複雑な問題で、そう簡単に答えられる質問ではないと思われる。

調査方法を改善してほしいところはあるが、マスコミの、国民の幸福を大事にしようとする姿勢が喜ばしい。幸福とは何かへの思考もこれをきっかけに深まっていくだろう。

## 6. 中国式～ (zhōng guó shì ～, 中国式～)

2004年に放送された人気テレビドラマ「中国式離婚」から始まった用法であるが、2012年の“中国式过马路”などで一気に流行した。

2012年12月2日は「全国交通安全日」に決められるようになった。初めての交通安全日のテーマとして、今年は「信号を守り、安全に出かけよう」というスローガンが提唱されたが、これは、歩行者の「中国式道路横断」の撲滅につながる。

“中国式过马路”“中国式逼婚”“中国式买房”といった、“中国式～”構造をもつ言葉から、中国人の心理状態や生活状態、ないし中国の社会問題まで窺えると言えよう。

① “中国式过马路” (zhōng guó shì guò mǎ lù, 中国式道路横断)：一概に

は言えないかもしれないが、中国でよく見られる現象の一つに、信号が青であろうか赤であろうか、一定の人数が集まれば、信号を無視し、横断歩道を渡ることがある。

- ② “中国式逼婚” (zhōng guó shì bī hūn, 中国式に結婚を強要する)：親が子供に早く結婚しろと強要すること。春節からバレンタインデーまでの間が最もよく親に逼られる時期で、そのせいで春節には帰郷しない若者もいるという。
- ③ “中国式买房” (zhōng guó shì mǎi fáng, 中国式住宅購入)：高騰する住宅価格を目の当たりにして、国民は否応なく経済学者にならざるを得ない。家の品質や住みやすさよりも、値上がりの可能性や住宅の場所などを優先して住宅を購入する現象を指す。

## 7. 舌尖上的中国 (shé jiān shàng de zhōng guó, 舌尖の上の中国)

CCTV で5月に放送された食ドキュメンタリーのタイトルである。中国各地の食について現場で製作する模様をありのままに見せながら、各地の食文化から生活様式までさまざまな面について語っている。

放送されるとすぐ大ヒットし、取材された店やエピソードに関心を寄せたり、自分の周りの美食を見つけたりするのも人々の間で話題になっている。“舌尖上的中国” シーズン2も予定されるそうだ。

## 8. 约架 (yuē jià, 決闘の約束)

決闘を約束することである。違う視点を持つ二人が、言葉によるコミュニケーションでお互いに説得し合えない場合、「決闘」の形で片付けようと、ある知識人がネット上の口喧嘩で勝負できないことを拳で勝負しようとしたことをきっかけに流行りはじめた。

北京の朝陽公園など、決闘の名所までできているそうだ。

## 9. 元芳，你怎么看？ (yuán fāng, nǐ zěn me kàn, 元芳、どう思うか?)

ネット文体“元芳体”とも言われる。連続テレビドラマ《神探狄仁杰》

(『名探偵狄仁傑』)の台詞からきている。ドラマの中で、事件があるたびに狄仁傑がその助手にあたる李元芳に“元芳，此事你怎么看？”(元芳くん、この事件をどう思うか)と言う。

この文体の構成は、「何らかの事柄+“元芳，你怎么看？”」になっている。たとえば、

①我还没有女朋友，元芳，你怎么看？

②这首江南 style 最近火得很，元芳你怎么看？

#### 10. 异地高考 (yì dì gāo kǎo, 異地高考、戸籍地でない都市での大学入試)

“异地高考”は、受験者が戸籍所属地以外の地域で大学入学試験に参加することを指す。とくに、北京や上海、広州など都市部の出稼ぎ労働者の子女、いわゆる流動人口が戸籍のない都市部で大学入試に参加することを指す。2012年7月、公平な教育機会を与えるための「異地高考」制度は国務院の同意を得て、いずれ公表されることになるが、その実施が都市戸籍のある住民の利益を損なうのではないかと、戸籍住民と非戸籍住民の間で論争となった。

戸籍制度や教育資源の不均衡が問われる難問なので、この制度の是非についての議論が盛り上がっている。

#### 11. 网购强迫症 (wǎng gòu qiǎng pò zhèng, ネットショッピング依存症)

ネットショッピングの便利さにはまってしまい、いつの間にかネットショップの割引やセールを見るたびに誘惑されて衝動買いをしてしまう。周りの人たちとの共同活動への情熱を失い、パソコンの前に座り込み、毎日欠かさずに何か買い物物をせずにいられないネットショッピング依存症になっている人が増えているようだ。

#### 12. 阿尔茨海默病 (ā ěr cí hǎi mò bìng, アルツハイマー病)

かつて“老年痴呆症”(老年痴呆)と呼ばれた病気で、「Alzheimer's Disease」の訳語である。認知能力と記憶能力の悪化、日常生活を維持する能力の減退

などと共に、さまざまな精神症状と行為障害が見られる。中国アルツハイマー病協会の2012年の調査によると、世界で3650万人もの患者がいるという。アルツハイマー病と診断されると、平均余命は5.9年しかなく、高齢者の健康を脅かし、その家族を悩ませる難病の一つで、高齢化社会の社会問題となりつつある。

### 13. 失独者 (shī dú zhě, 一人っ子を失くした親)

一人っ子のことを“独生子女”と呼ぶことから、50代になって一人っ子を失くした親は自分たちのことを“失独者”と言っている。事故や難病などで子供を失くしたこれらの親は、もはや子供が産めない年で普通の人が想像もできない暗闇の中をさまようしかない。

現在、15歳から30歳の一人っ子を亡くした家庭は毎年7.6万世帯のスピードで増えており、“失独者”の老後生活をめぐって、一人っ子政策を見直すべきだと主張する人も増えている。

### 14. 上帝粒子 (shàng dì lì zǐ, ヒッグス粒子／ゴッド・パーティクル／神の粒子)

ヒッグス粒子のことである。イギリスの物理学者ヒッグスによって提唱されたが、素粒子物理学のモデルでいまだに見つけられていない唯一の素粒子であり、ゴッドパーティクルとも呼ばれる。2012年7月4日に、ヨーロッパ原子核研究機構（CERN）が、ヒッグス粒子の特徴と非常に似ている新しい素粒子を発見したと発表した。

### 15. 表哥 (biǎo gē, 腕時計兄貴)

本来は「従兄弟」の中で年上の男という意味を表す単語であるが、高級ブランド腕時計をよくつける官僚をからかう言葉にも使われるようになった。これは、腕時計は中国語で“表”（以前は“錶”と書いたが、簡略化され同じ発音の“表”となった）と言い、また、兄という意味の“哥”も特別な人物という意味で接尾辞的に使われるからである。

給料で決して買えない高級ブランド腕時計を何本も持っていることが判明

し、解任された陝西省安全生産監督管理局の楊達才局長も“表哥”の一人である。ネットユーザーの力で、“表哥”をはじめとする数多くの政府官僚の汚職があばき出された。

#### 16. 杜甫涂鸦 (dù fū tú yā, 杜甫落書き)

中学校の国語教科書にある「杜甫」の挿絵に落書きし、イヤホンをつけて音楽を聴いている杜甫、車を運転している杜甫、銃をかまえている杜甫、バイクに乗って買い物の帰り道を急いでいる杜甫、ミニブログに書き込んでいる杜甫と、さまざまなスタイルの現代の杜甫に変えたものである。2012年は杜甫の誕生1300周年であるが、現代の「杜甫は忙しい」とからかわれている。

#### 17. 龙年婴儿潮 (lóng nián yīng ér cháo, 辰年ベビーブーム)

龍に対する中国人の特別な感情から、例年より5%も出生率が増える2012年辰年のベビーブームが現れた。

このベビーブームによってもたらされる影響は、妊婦健診の混雑、産後のお手伝いさんの賃金値上がり、将来的に入学難、結婚難、就職難などの社会問題が予測される。一方、パウダーミルク、紙おむつ、子供服などの赤ちゃん用品を扱うメーカーにとっては喜ばしい結果である。

#### 18. 双十一 (shuāng shí yī, ダブル11)

11月11日のことである。1が「棒」という意味の中国語“棍”に見えるので、1が集まる11月11日は、若者の間では“光棍节”(独身者の日。中国では独身者を“光棍”という)とされてきた。伝統的な祝日でも何でもないが、2009年前後から、この日に多くの小売店、特にネットショッピングサイトがバーゲンセールを仕掛けることが盛んになってきた。





2012年のダブル11では、中国最大のショッピングサイト“淘宝”（タオバオ）をはじめ、多くのショッピングサイトによって史上最大のスーパーバーゲンが仕掛けられた。タオバオの売上はその日一日だけで190億元にのぼったという。

#### 19. 黄金大米 (huáng jīn dà mǐ, 黄金米／ゴールデンライス)

アメリカで開発された遺伝子組み換え米で、その色が黄色っぽいため「黄金米」と呼ばれている。ふつうの米と違い、カロチンを豊富に含みビタミンAの補充に効果があるといわれている。

2012年9月4日、湖南省衡陽市の小学生を対象にこの遺伝子組み換え黄金米の実験をしていたことが明らかとなったため、子供で人体実験をした行為に対する非難の声が上がり、遺伝子組み換え作物の安全性についても議論されている。

#### 20. 中国好声音 (Zhōng guó hǎo shēng yīn, 中国好声音／The Voice of China)

“中国好声音” (The Voice of China) は2012年7月13日に浙江衛星テレビで放送開始したオーディション番組である。ヨーロッパをはじめ世界で15カ国以上がフォーマットしている「ザ・ヴォイス」の中国版でもある。「真の声・真の音楽」をキャッチコピーに、本当に音楽的才能のある歌手を選び出し、音楽への情熱一筋で視聴者を感動させた。視聴率1位をしっかりとキープし、9月30日のフィナーレでは29.47%の視聴率を記録した。

目覚ましい経済発展と社会的公平感は両立するのか。国民の幸福への憧れにどう対応すべきか、転換期の中国はこれからどこへ行くのか。これらの問題は、政府だけの課題ではなく、国民の一人ひとりも常に考えているようだ。

衣食住といった生存最低限の事柄から、娯楽・レジャー・自己成長までもっと人間らしく余裕のある生活への期待がますます強くなってきている。

社会のどん底にいると自嘲する“屌丝”たちの無力感が感じられる一方、“正能量”で善を輝かせる明るい面も見える。人々はインターネットという

底知れぬ大きな舞台で社会参与していくことだろう。

**参考サイト**

- [1] 互动百科：<http://www.baike.com/>
- [2] 百度百科：<http://baike.baidu.com/>
- [3] 人民网：<http://www.people.com.cn/>
- [4] 人民網日本語版：<http://j.people.com.cn/home.html>
- [5] 中国青年报：<http://zqb.cyol.com/>
- [6] 央视网：<http://www.cntv.cn/>
- [7] 中国網日本語版：<http://japanese.china.org.cn/>
- [8] 人民中国日本語版：<http://www.peoplechina.com.cn/>
- [9] サーチナ：<http://searchina.ne.jp/>
- [10] レコードチャイナ：<http://www.recordchina.co.jp/>

趙蔚青 Zhao Weiqing 西安交通大学外国語学部准教授 専門：社会言語学、日本語学